

科目名	図画工作指導法Ⅱ		科目コード	2036	
開講学科	初等芸術教育学科	単位数	2	形態	講義
教員名	車谷哲明				
授業の目的及びテーマ					
図画工作科の教科目標、育成すべき能力資質をさらに明確にし、授業づくりに必要な情報や技能を明確にしていく。また、具体的な授業場面を想定した授業設計を行なうことの出来る方法を身につける。					
授業概要					
<p>実技指導に関連させながら、指導のポイントや工夫点を明確にしていく。また、鑑賞への取り組みについても作品を通して学ぶ機会を作ります。子どもの意欲を高めるための題材設定や材料・用具の工夫について討論しながら必要事項を身につけていきます。</p> <p>美術団体の長や教育委員会指導主事（図工・美術）の経験を活かし具体的実践例をもとに指導力を育成する。</p>					
授業計画					
<p>第 1 回：図画工作科の内容と構成について。 新しい学習指導要領で大切にすべきこと。</p> <p>第 2 回：図画工作科の内容研究「造形あそび」① 造形あそびの特性解説と題材の分析（幼稚園～低学年）造形あそびの中で育つ力</p> <p>第 3 回：図画工作科の内容研究「造形あそび」② 造形あそびの特性解説と題材の分析（中学年～高学年）身近なあそびと造形活動</p> <p>第 4 回：図画工作科の内容研究「平面に表す」① パス・水絵の具を使った題材の分析、きっかけ題材への工夫</p> <p>第 5 回：図画工作科の内容研究「平面に表す」② 写して遊ぶから版表現への計画作成</p> <p>第 6 回：図画工作科の内容研究「立体に表す」① 紙材を使った指導計画の作成</p> <p>第 7 回：図画工作科の内容研究「立体に表す」② 身近な紙を使った指導計画の作成</p> <p>第 8 回：図画工作科の内容研究「立体に表す」③ 粘土を使った指導計画の作成</p> <p>第 9 回：図画工作科の内容研究「鑑賞」 鑑賞活動の工夫と計画作成について</p> <p>第 10 回：授業場面を想定した授業設計① 電子黒板と電子教科書の活用方法について（実践例をもとに考える）</p> <p>第 11 回：授業場面を想定した授業設計② ipad を活用した授業設定の考察について</p> <p>第 12 回：図画工作科の評価について① 作品の評価について（記録と結果をもと</p> <p>第 13 回：図画工作科の評価について② 授業内における評価活動と助言の仕方について</p> <p>第 14 回：模擬授業の実施（代表）① 学年、内容について事前に検討した計画に沿って代表者が模擬授業を行なう。</p> <p>第 15 回：模擬授業の実施（代表）② 学年、内容について事前に検討した計画に沿って代表者が模擬授業を行なう。テスト</p>					
テキスト	小学校教育課程実践講座 図画工作出 ぎょうせい出版著）奥村高明 新学習指導要領にもとづく こどものアート 著）編著 車谷哲明・井関和代	参考文献	小学校学習指導要領解説 図画工作編 出）文部科学省		
評価方法：					
通信授業は提出課題（2件）、最終課題を以って評価する 面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					